

はじめに

I

再刊にあたって

4

I 東京の川と地形

II

東京の地形 三つの水系 下町低地の川 下町低地の自然堤防

武蔵野台地と川 荒川水系の河川 石神井川と神田川・日本橋川

多摩川水系の河川 中小河川 東京の遺跡 遺跡分布の特徴 農耕的狩獵

II 浅草と江戸

41

浅草海苔 浅草観音 渡来人の基地 「東国」と利根川

下総国大嶋郷 浅草湊の変化 江戸の設定 将門の首塚

隅田川と浅草川

III 中世の江戸湊

61

江戸氏の登場 頼朝の敵前渡河 「隅田宿」と浅草 隅田宿の位置

中世渡来人の配置 江戸氏の内陸部進出 争乱期の関東 第二次中世渡来人

太田道灌と江戸 石神井川と江戸湊 滝野川 道灌の江戸経営

平川のつけかえ 史料中の江戸湊 第二次史料の場合

IV 近世江戸城の成立

95

中世から近世へ 近世当初の江戸城 天正期の江戸 近世の渡来人

新渡来人の出身地 日比谷入江の埋立て 最初の運河 第一次江戸城の完成

平川水系の改修 寛永江戸図と市街地 江戸城の完成

V 江戸を支えた河岸

125

江戸の人口 江戸市街の特徴 江戸の材木町 上水の整備

玉川上水と江戸西郊の開発 江戸の拡大 廻船と関東地廻り 河岸と物揚場

河岸と船 河岸の名称 河岸地の行政

VI 江戸の拡大と湊

155

江東地区と江戸湊 江東地区の水路網 江東地区の河岸 両国橋
 江東地区の役割 近郊農村の成立 市場の成立 江戸の水路
 町人の都市計画 江戸の公害 台地部の公害 交通途絶

VII 明治の湊

181

黒船来航 品川台場 明治の物揚場 川と工業
 輸送手段の近代化 利根川のつけかえ 浅間山噴火の影響
 利根水運と鉄道 海港と河港の接収 明治末期の水運事情 明治中期の江東の水運

VIII 湊の否定の時代

213

鉄道の国有化 私鉄と水運 戦争と水運 東京の貨物集散
 関東大震災の影響 江東地区の変貌 地盤沈下 市街地の零細河川
 川と市場 湊と広場 戦争激化と水運

IX 川の変貌と死

237

戦後の復興事業 独立当時の東京の川 高度成長時代と川 近郊の都市化
 武蔵野の「クボ」 川の巨大さ 台風一七号 新しい川
 江戸湊との対比 世界の舟運 川の再認識

X 都市河川への展望

273

姿を消した川 江戸湊の埋立て 武蔵野台地上の中小河川 遊水池飯田濠
 緑道と目黒川 東京下町低地の水路 水辺景観への視角 これまでの治水
 新しい概念 景観論の復活 ハリー・ホフの講演 今も生きるTVA

あとがき

302

『江戸の川・東京の川』再刊に寄せて

304

鈴木理生(すずき まさお)

一九二六年 東京生れ

一九五〇年 法政大学卒

現在 東京地縁社会史研究所理事

●「東京」関連の主な著書

「江戸と江戸城」新人物往来社

「江戸と城下町」新人物往来社

「千代田区の歴史」名著出版

「明治生れの町神田三崎町」青蛙房

「江戸の都市計画」三省堂

「東京百年史」東京都(共著)

「神田市場史」神田市場協会(共著)

「郊外住宅地の系譜」鹿島出版会(共著)

他に千代田・文京・世田谷・北・中央・目黒・

荒川各区史など

江戸の川・東京の川

一九八九年八月二五日 第一版第一刷発行

二〇〇八年一月二五日 第一版第七刷発行

著者 鈴木理生

発行者 関谷 勉

発行所 株式会社井上書院

東京都文京区湯島一十七十五

電話〇三五六八九五四八一 FAX〇三五六八九五四八三

振替〇〇二二〇一七二〇〇五三五

印刷所 株式会社平文社

製本所 誠製本株式会社

ISBN978-4-7530-2304-2 C0021 Printed in Japan

- ・本書の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能権を含む)は株式会社井上書院が保有します。
- ・**JCLIS**〈(株)日本著作出版権管理システム委託出版物〉
本書の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版管理システム(電話03-3817-5670, FAX03-3815-8199)の許諾を得てください。